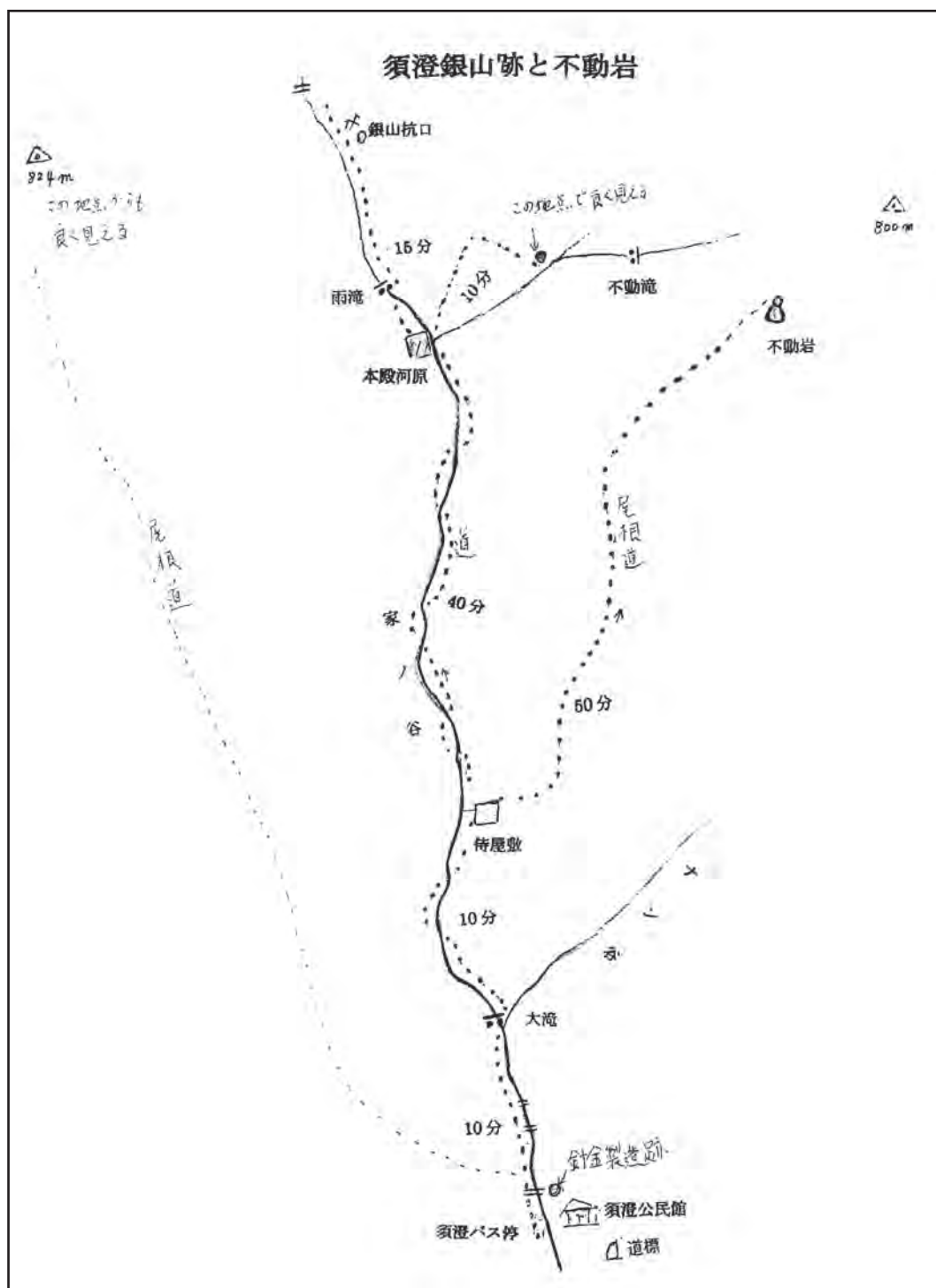


資料紹介

須澄不動岩関連資料
落折平経盛関連資料

須澄不動岩の地図と写真



提供福山繁氏

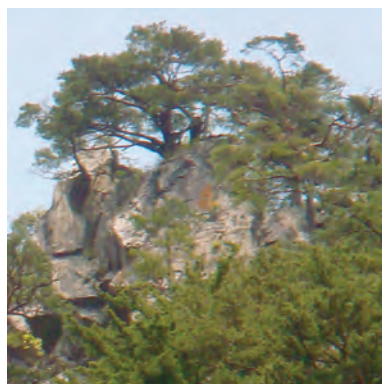
不動岩の〈色〉について

不動岩の写真、とくに不動岩表面の色からは、次のようなことが推測される（現地調査や鉱物化学分析を行った結果ではないため、多分に間違いである可能性があることを予めご了解いただきたい）。

不動岩の黒ずんだ箇所は、酸化マンガンのコーティング（皮膜）であり、一般的によく見られるものである。茶色の部分は、褐鉄鉱のコーティングであろうと思われる。これは、地下水などに含まれる水溶性の酸化第一鉄が、地表で酸素と化合して酸化第二鉄（身近なものは、鉄サビ）になると水に溶けなくなり、岩石の表面に沈殿したものであろう。不動明王に見えたという赤い炎は、写真観察の範囲では、酸化鉄皮膜である可能性が考えられる。

また、銀山跡があったということだが、周辺の地質からみると、鉱山であったこと、採掘したのが銀であったかどうか、いっそうの検証が必要であるように思われる。そのためには、ズリ（鉱山廃石）に含まれる銀鉱物の発見、古文書などの調査が手がかりになるかもしれない。

（矢野孝雄・鳥取大学地域学部地域環境学科教授）



不動岩の部分を拡大



須澄不動岩遠景（福山繁氏提供）

落折集落平経盛関連写真



平経盛の墓



平経盛隠棲の洞窟 ① (遠景)



平経盛隠棲の洞窟 ②